

令和2年度12月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和2年12月1日(火) 午前11時00分～11時35分
場所 市役所2階 第1委員会室
出席 市政記者クラブ7社

会見内容

1. 話題提供(2項目)

1. 新型コロナウイルス感染症対策における紙芝居式普及啓発資料について

- 最初に、新型コロナウイルス感染症対策における紙芝居式普及啓発資料についてです。
- 釧路市では、このたび、未就学児から小学校低学年を対象に、新型コロナウイルス感染症に関する、紙芝居式の普及啓発資料を作成いたしました。
- 新型コロナウイルス感染症の感染が収まらない状況の中、様々な不安から、感染者や関係者への誹謗中傷につながることを防ぐため、子ども達にも新型コロナウイルス感染症のことを正しく伝えることを目的としております。
- ストーリーは、新型コロナウイルスの感染者が増える日々の中、ある日、自分の母親が感染した女の子がしばらく休んで、再び登園した時のまわりの子ども達の反応から、多くの人が持つコロナに対して「怖れ」を感じる気持ち、不用意に発する言葉によって傷つく人の気持ちを描いたもので、紙芝居を見ている子どもたちが、女の子の気持ちについて考えることができる展開となっております。
- また、同時に感染予防の基本について、保育園や幼稚園などの先生から教えてもらう場面も設定し、感染予防の3つのポイントとして、手洗いのタイミング、咳エチケットとともに、これからウイルスに負けない健やかな体をつくる上で最も基本となる規則正しい生活について、内容に盛り込みました。
- 制作にあたり、基となるストーリーの骨子を健康推進課保健師が示し、公立保育園園長会がストーリーを作成、それに合わせて公立保育園保育士の方々が絵を描き、紙芝居の原版の作成を行いました。また、全体の監修は、政策アドバイザーの坂元晴香先生にご協力頂きました。
- 今後、この紙芝居式普及啓発資料は、市内の保育園、認定こども園、幼稚園、児童館の72箇所に順次配布するため増刷し、各施設で活用していただきます。また、同内容は、釧路市公式YouTubeチャンネルに投稿しており、紙芝居動画を見ることが可能となっております。
- なお、市民に向けた新型コロナウイルス感染症対策の普及啓発資料といたしましては、11月24日に「新型コロナウイルス感染症感染予防ハンドブック」を第2版に更新し、併せて、自分や家族がPCR検査を受けた時の過ごし方など、様々な疑問をQ&Aにまとめたものを、市ホームページでご紹介しておりますので、こちらも広く活用していただきたいと思います。

2. 釧路湿原の保全にかかる寄附受納について ～私立 星槎もみじ中学校 1年1組の取り組みの紹介～

- 続いて、釧路湿原の保全にかかる寄附受納についてです。
- このたび、札幌にある私立星槎もみじ中学校の1年1組の皆さんから、釧路湿原の保全に対し、ご寄附が寄せられました。
- 同中学校では、今年の学校祭のテーマを、「北海道応援～団結～皆で協力しよう」とし、クラス毎に応援する市町村を選び、選んだ市町村に関連するグッズの販売を行ったと伺っております。
- 1年1組の皆さんは、釧路湿原とそこに棲む動物たちに注目し、「釧路市」を選ばれ、学校祭では、釧路市の観光ポスターの掲示や実物大のタンチョウのパネルを展示し、釧路市を紹介したほか、地元文具店のオリジナル文房具「シマエナガさん」シリーズの販売を行ったとのことでした。
- このたび、ご寄附をいただいた売上金14,750円は、釧路湿原の保全活動を行う「釧路湿原国立公園連絡協議会」で活用させていただきます。
- 併せまして、この後、本日午後2時40分から、インターネットで1年1組の皆さんにご寄附のお礼を、私の方から伝えることとしています。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 寄附受納についてですが、寄附を受けたのはいつになりますでしょうか。また、星槎もみじ中学校と釧路市との関係は、寄附受納の他にあったのでしょうか。

(環境保全課課長補佐)

- ・ 11月10日に寄附を受納いたしました。こちらは、学校祭において、当市を紹介・応援するイベントが行われたことで、この度、初めて市にご連絡をいただいたものであります。

(質問)

- ・ 本日、インターネットで寄附のお礼をお伝えするというのですが、生徒の皆さんに直接お伝えするというのでしょうか。

(市長)

- ・ インターネットを通じて、1年1組の生徒の皆さんにお伝えいたします。時間については、10分程度を予定しております。

(質問)

- ・ 紙芝居式普及啓発資料について、感染者や関係者への誹謗中傷につながることを防ぐためということですが、市内の高校でも誹謗中傷のようなことがありましたが、現在、保育園や幼稚園等でも、そのようなことが起きているのでしょうか。

(市長)

- ・ そのようなお話は伺っていないのですが、やはり、日頃からしっかりと伝えておくことが重要であると考えおります。このたびの紙芝居の内容は、相手の気持ちに立ちましようという感じで作られております。新型コロナウイルス感染症のみならず、様々な場面でも、自分が発した言葉や行動等を、相手がどのように思うか考えていきたいと思います。

(質問)

- ・ このような紙芝居を YouTube で発信している自治体は、他にあるのでしょうか。
(健康推進課課長補佐)
- ・ 行政として、このような形で配信している自治体は、ほとんどないと思います。

(質問)

- ・ 1月の成人式の開催予定について、道内でも中止になっている自治体も出てきております。釧路市では、例年どおり開催をするのか、何か対策を取って行うのか、現在、決まっていることはありますでしょうか。

(市長)

- ・ 当然のことですが、入場時の検温であるとか、しっかりとした感染対策を取りながら実施をしていくということです。また、オンラインでの配信を行うといった話も聞いております。

(質問)

- ・ 釧路の新成人の方々は、自分たちは、成人式に参加できるのだろうかと思っ
ている方も多いと思いますので、このような形で実施しますというメッセージが
ありましたら、よろしく願いいたします。

(市長)

- ・ 早い段階から、実施をしていく旨のお話をしていたところでありまして。先程の
お話にありましたように、様々な自治体で中止や延期などの変更が出てきており
ます。担当の教育委員会において、しっかりと感染対策を行い、対応していくよ
う指示をしていきます。

(質問)

- ・ 昨日から日本製紙の存続についての署名活動が始まりましたが、現段階で、企
業に対する支援策のお考えはありますでしょうか。また、市長もご出席されてい
た鳥取小学校PTAとの意見交換会において、雇用への不安を訴える方も多くい
らっしゃいましたが、就労支援等はありませんでしょうか。

(市長)

- ・ 現在、先月5日の発表を受けて、影響調査や署名活動といったことをまとめた
中で、もう一度、再考を求めるというお話をさせていただいて、まずは、しっか
りとその話をお願いさせていただこうと考えております。その上で、次にどのよ
うな形で、色々なことを進めていけるのかということです。また、様々な対応策
について考えていくことが必要であると思っております。最初にお伺いをした時
にも、「何が残せるかということについては、まだ何もありませんが考えてまいり
たい」という社長からの言葉もいただいたところですが、現段階では、まだその
ところも見えない状況です。私どもは、是非とも存続を踏まえながら、再考をし
ていただきたいとお願いしているところでありまして、今月中に、もう一度、
お伺いをさせていただく中で、どのようにしていくかということになると思っ
ております。今は、しっかりと影響額や皆さんからいただいている声をしっか
りと届けていこうと考えております。

(質問)

- ・ 今後の進み具合によっては、支援策を考えることもあり得るということでは
うか。

(市長)

- どのようなことを行っていくのかということです。如何せん来年8月ですから、本当に早く色々なことを考えていかなければいけないと思っております。それ故に、発表されてすぐに本社をお伺いさせていただき、かつスピードを上げながら影響調査を行い、署名活動を進めている状況です。

(質問)

- 昨日、観光客の入込数の発表があり、釧路市も少し回復の傾向が見えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の第3波で厳しい状況になりそうであるということのようです。釧路市では、ステイクシロキャンペーンを行っていましたが、今後、国の交付金の関連等もあるとは思いますが、観光施策で支援をすることは考えておりますでしょうか。

(市長)

- このような新型コロナウイルス感染症の状況につきましては、しっかりと乗り越えて生き残ることが復活する道であるということで、様々な取り組みを行ってきております。もちろん交付金を活用し、現場の状況を踏まえながら進めているところであり、まさに、今、国の議論等を踏まえながら、しっかりと進めていくことが必要であると考えております。その中には、やはり観光というものが含まれてくると考えているところで、どのような形を進めていくのかということ、様々な動きを見ていながら検討していくものと考えております。Go To トラベルの提言として、来年のゴールデンウィークまで継続というものを、報道で拝見させていただいたところでした。まさに、そのような色々な動きをしっかりと把握し、感染を抑制していきながら進めていこうという動きがある訳ですから、ここをしっかりと踏まえながら対応をしていきたいと思っております。

(質問)

- 日本製紙が撤退するという話があった当時の市長のコメントのニュアンスとしては、到底受け入れられないという強めのメッセージに感じたのですが、その後、色々と要請等に出て行かれていますうちに、やはり民間企業であるので、その判断を尊重するところはあるということをおっしゃっていたと感じております。そのような中で、現状の再考を促す考え方について、お伺いしたいと思っております。

(市長)

- 受け入れられないというところから、色々ニュアンスが変わってきているのではないかという見方もあるようですが、私は一貫して同じニュアンスでお話をさせていただいております。会社は会社で、経営判断というものがあがりながら進めていくことは、当たり前のことであると認識しております。ただ、その状況の中で了解をいただきたいと言われ、まさにこの地域の中で進めてきた、ましてや100年の歴史も踏まえてとなりますと、「そうですね」と了解できるものではないものと思っております。始めからそのような立ち位置の中で、お話をさせていただいているところです。その上で、私がお話していたのは、一企業でありますから、もちろん経営判断というものがあがりながら進めていくことは、重要なことであると重々認識しております。しかしながら、会社というものは、社会の公器ですという言葉があり、また、環境や社会といったESGであるとか、SDGsや社会的責任としてのCSRといった言葉が出てきて久しくなります。昔はどちらかというと株式は資本主義そのものと言われておりましたが、この10年、15年位で大きく変化してきているのが、色々な報道等を見て、認識をしている

ところでは、会社が生き残ることが重要であることは、重々承知しておりますが、生き残るためには、全ての判断が正しい形になるのかということです。私どもからは、財務諸表やバランスシートに載っていない、今までの100年の歩みや我々の行ってきたことを、会社の方にお届けしていきたいというお話をさせていただき、再考をお願いしたい旨のお話をさせていただいているところです。どのような結果が出てくるのかは、色々あるかと思いますが、今の厳しい社会情勢の流れの中での経営者のご判断は、重要であると思っております。そのような意味で、こちらの色々な声等をお話し、経営判断の中に含み入れることができればと思い、今、進めているところであります。

(質問)

- ・ 具体的にどのようなところを再考して欲しいというイメージはありますでしょうか。

(市長)

- ・ 私どもが、11月5日に、このたびのお話をいただくまで、会社の決算に係る資料等は、新聞等に発表されておりますから大雑把にわかりますが、会社側が様々な検討をされてきた状況等については、承知していないものであります。地域の中で、様々なことについて経営判断を行った時に、色々な影響があるということ踏まえた中で、どのような経営判断をされるのかということであると思っておりますので、その経営判断に対して、私どもの要請をお願いしているところであります。

(質問)

- ・ まずは、影響調査、署名活動を行っていくということで、要は、撤退されるとこれだけ困るから残っていただきたいと、感情に訴えることに近いかと思うのですが、あれだけの規模の大企業に、それが有効なのでしょうか。それによって、逆に撤退をなくしたら、株主に説明がつかないといった問題もあると思えます。再考を促す手段として、例えば、このような支援制度を作るから残っていただきたいと訴えた方が、戦略的に有効ではないのかと思うのですが、この度、影響調査と署名で再考を促すという戦略に至ったお考えを教えてくださいませんか。

(市長)

- ・ 基本的に、会社は、会社の立ち位置の中で、物事を考えていくことは重要なことであると思っております。それに対して、釧路市にとっては、事実、おっしゃるとおりに困ることであり、大変なことであります。それぞれ大企業であれ、小さな企業であれ、会社が生き延びて、会社を守りながら、社員を守りながら進めていくことは、必要不可欠なことであると思っておりますし、私ども地方自治体も、同様のことを考えていくと思っております。そこの主たる目的を進めていくためには、他はどのようになってもいいのだろうかという思いです。私たちが残るから、あとはいいのですとなりますでしょうか。今までこのように色々なこともあった訳ですし、出来るだけ影響を無くすように努力していきましようと思いうことも大切ではないかと思っております。会社ですから当たり前で、他はどうかと構わない話であって、合理的にプラス・マイナスだけで計算していきましようといった社会なのですかという思いがあります。バランスシートに載っていないこともたくさんあります。計算するだけであれば、誰も経営判断をしないです。数字だけであれば、パソコンで出来ます。しかしながら、会社の中での経営判断というものは、やはり重たいものであると思っております。そのような意味

で、会社にとって重たいものもあるし、我々の地域の中でのそのような思いがある中で、どのように進めていけるかということでもあります。それが来年の8月であるということは早いです。色々な検討をされてきたということもありますが、私どもはその中身は承知していませんので、まずは再考をお願いしたいということでもあります。

(質問)

- ・ 来年8月の撤退が早いのではないかとということで、再考をお願いしたいということだと、どのぐらいの期間を設けて欲しいとお考えなのでしょうか。

(市長)

- ・ 経営のところまで、どうこうお伝えするところはないです。例えば、決算の中でも、1つ1つの工場が、どれだけでどのようになっていますという数字までは、承知してなくて、決算書の中では、全体事業の事業別に出ています。新聞と紙といった形で出ており、そここのところに私たちが入っていけるのかということです。まずは、今までの100年間の取組等を踏まえ、どのような形で、色々なことが出来るのかということからスタートさせることが重要であると思っています。そのための再考なのです。

(質問)

- ・ 江別市も会社は違いますが、王子エフテックスがパルプ製造設備を停止するといった、同じような状況です。例えば、江別市と連携して、製紙業界に向けて取り組んでいくようなことは考えていますでしょうか。

(市長)

- ・ 江別市の三好市長に、色々情報を聞きながらと考えております。今朝の報道を見て、これも1年後かと思ひまして、驚きました。それ位紙の需要が厳しい状況になっているということに改めて感じまして、本当にどのような形でいけるのかということがあります。そこにつきましては、相談していこうと思っております。私どもは、ネットワーク等ありますし、苫小牧市や室蘭市、名寄市等とも色々な状況等を踏まえた形で、我々、市長同士でお話をしていることがあります。個別、具体になりましたら、各部署になっていくと思いますが、行政体同士で連携をとって、行っていきたいと考えております。